

め、二日間で会員約百人が参加した。初日は沼尻軽便鉄道の発着駅に建てられた記念碑前で、地元の「沼尻硫黄鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会」の出口陽子会長が歓迎の言葉を述べた。語り継ぐ会の鈴木清孝さんのハーモニカ演奏に合わせて、「高原列車は行く」を合唱した。



一行は町内の「緑の村」に展示されている軽便鉄道の車両や中ノ沢温泉入り口にある歌碑を巡り、軽便鉄道をモデルにした「高原列車は行く」の歌詞に理解を深めていた。

「ゴミゼロの日」 ちなみ神社清掃 若松で「学ぶ会」

会津掃除に学ぶ会は二十七日、「ゴミゼロ運動の日」にちなみ、会津若松市の八角神社で清掃活動を行った。

学ぶ会は五月三十日

を「ゴミゼロ運動の日」 として毎年、清掃活動 を展開している。今年 は同日が平日のため二 十七日に実施した。会 員ら約五十人が参加し 屋根に積もった落ち葉 や境内のタバコの吸い 殻、枯れ枝などを回収 した。

同会はイエローハット創業者の鍵山秀三郎氏が中心となり、結成した「日本を美しくする会」の活動に賛同し、トイレや公園などの美化に取り組んでいる。



敦さんの妻好美さんか

創立70年準備の 事業計画決める 若松市赤十字奉仕団

会津若松市赤十字奉仕団の総会は、市内のルネッサンス中の島で開かれた。

約五十人が出席した。「赤十字の旗」を斉唱した後、高橋美津子委員長があいさつし、室井照平市長らが祝辞を述べた。平成三十年の創立七十年記念事業に向けた準備などを盛り込んだ二十九年度事業計画を決めた。

マイ酒器で 親睦深める 会津漆器協組

会津漆器協同組合の総会は二十六日、会津若松市のベル・ルクス



佐藤会長を再選 耶麻歯科医師会

耶麻歯科医師会の総会は二十五日、喜多方市の新丁子屋で開か

田部さん(右から2目)

で開かれ、平成二十年度の事業計画などについて協議した。約五十人が出席した。高瀬淳理事長がいさつした。会津漆技術後継者訓練校の営や展示会への参加を決めた。総会后に懇親会をいた。各自が持参したマイ酒器で杯する出席者

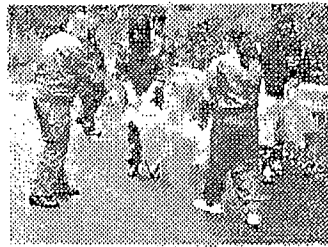
主な新役員は次のり。任期は二年。

- ▽会長―佐藤明▽副会―物江暁、渡部晴彦、光子▽専務―北見武広計―山田敦

6/2 民友新聞

若松市水道部が美化活動

第59回水道週間（1～7日）を前に、会津若松市水道部は5月27日、同市の東山ダム周辺でクリーン作業を行い、環境美化に貢献した＝写真。

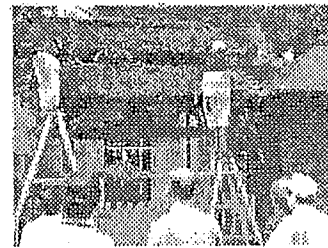


水道水源を保護しようと、毎年行っている。同部のほか、会津管工事協同組合と会津若松アクアパートナー、ヴェオリア・ジェネッツから約80人が参加。参加者はごみを拾い、可燃物80キ、不燃物30キを集めた。

若松の神社で清掃活動

「ゴミゼロ運動の日」（5月30日）に合わせ、会津若松市の「会津掃除に学ぶ会」は5月27日、同市宮町の八角神社で清掃活動を行った＝写真。

同会は例年、同運動の日に合わせて飯盛山周辺での街頭清掃を実施してきた。同神社での活動は初めて。



境内には、酒の神として信仰を集める松尾大社（京都）を勧請した松尾神社（西会津町）の分社・松尾社があるため会津若松酒造協同組合も協力。同会と組合から約50人が参加し、境内のごみや落ち葉を集めるなどした。

若松で赤十字健康教室

日赤県支部などは5月26日、会津若松市の錦町町内会館で赤十字にこ

にし健康教室を開いた。原発事故の避難者を支援毎年開かれている。浪江町に避難している町民でつくる「会津地方なみえ会」のメンバー約30人が参加し、運動不足を解消すッチや楽な立ち上がり方など＝写真。



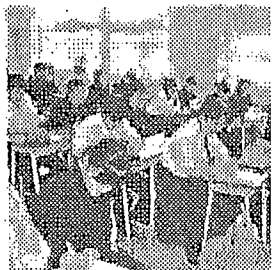
段ボールとビニール袋で「易足湯」の実演も行われ、れた体を癒やした。毎回参る主婦高橋セツ子さん（73）が気持ちよかった。家でもたい」と話した。

会津高でリーダー育成

県教委の「復興と未来をーバルリーダー（GL）育のモデル校として、本県の会的課題を学んでいる会津25日、会津若松市の同校での課外授業を行った＝写真

2年生約40人が参加。世率、通学者割合、教育援助などに理解を深めた後、グなって意見を交わし、改善策をまとめた。

関本美咲さんは「世界のために何ができるか意識い」と感想。西郷伊織さんの環境は恵まれていると自まずは改善策を大勢で共有が重要ではないか」と語っ



ボトルキャップ320キ贈る

会津若松市の若松四中は1日までに、生徒が集めたペットボトルキャップ約320キを喜多方市の荒川産業に贈った。

同校のJRC委員会が呼び掛けている活動で、家庭などから集めた。同校で行われた贈呈式では、若林綾乃委員長（3年）らが担当者にペットボトルキャップを寄託した。



生徒が集めたペットボトル